

2006～07年の秋田県地域がん登録成績

加藤 哲郎* 戸堀 文雄 小澤 仁美 佐藤 雅子

1. 秋田県がん登録事業の経緯

秋田県のがん死亡率は1997年以来11年にわたって全国1位の座にあり、2007年の当県がん死亡率352.1は全国平均266.7の1.32倍に上る。当県では、婦人科がん（1986年～94年）、胃がん（1999年～）、大腸がん（2003年～）の個別がん登録事業が行われていたが、2006年に至って全がんを対象とした地域がん登録が公的事業として発足した。発足2年目であるが、2006年と2007年の登録成績を報告し、今後の参考の資としたい。なお事業開始時から死亡小票調査を申請中だが、まだ厚労省の許可がないため届出票のみの集計成績である。

2. 登録成績

県内の全医療機関756施設に各年1～12月のがん罹患患者の登録を要請した。重複例を照合除外した登録罹患実数は2006年5,974件、2007年6,736件であった。両年の罹患死亡比（IM比）は1.54と1.71、期待登録率は67.63%と74.96%であり、2年目に登録率向上がみられた。

2007年の部位別登録数は、男性では胃、大腸、前立腺、肺、食道、女性では大腸、乳房、胃、子宮、肺の順であった。部位別IM比をみると、0.67～13.67と登録率の部位別バラツキが大きかった。地域別の対人口登録率も、0.24～0.74%とバラツキが大きかった。

男女比は1.46：1.0、年齢層別では70歳台35.8%が最多でついで60歳台21.8%であった。

発見経緯はがん検診10.4%、人間ドック6.7%、他疾患治療中23.5%、剖検0.9%、他院より紹介11.9%、不明7.5%であった。臨床進行度は上皮内10.4%、臓器内限局43.0%、所属リンパ節転移11.9%、隣接臓器浸潤8.6%、遠隔転移11.8%、不明・未記入14.3%であった。治療内容は手術療法58.3%、放射線療法8.7%、化学療法22.3%、免疫療法0.7%、内分泌療法6.4%、待機・緩和療法3.5%であった（以上、2年間の総計）。

早期のがん（上皮内+臓器内限局）の頻度をがん検診・人間ドック受診の有無からみると、男性では受診群76.7%：非受診群52.6%、女性では77.2%：51.9%となり、検診受診群における早期のがんの頻度が有意に高かった。

3. まとめ

登録数に増加傾向がみられ、事業開始2年目の2007年には県内新規がん患者の75%が登録されたと推定される。登録精度の更なる向上には、死亡小票調査の早期認可が必須であり、また地域別ならびに臓器別の登録率の格差解消に向けた努力が必要と考えられる。一方、検診群における早期のがん頻度の高さは、検診の重要性を改めて示すものであった。

*秋田県総合保健センター疾病登録室

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6